

特 記 仕 様 書

◇業務の目的

- ・ 本業務は、「個別排水処理施設事業」において合併浄化槽を設置するために、設置箇所の測量調査並びに実施設計を行うことを目的とする。

◇調査業務の内容

- ・ 調査業務の内容は以下のとおりとする。
 - (1) 合併浄化槽設置位置の調査。
 - (2) 住宅の平面形状及び排水設備位置の調査。
 - (3) 周辺の状況及び放流箇所の調査。
 - (4) 放流箇所における占用申請に係る図書の作成。
 - (5) 上記以外に必要な場合、別途協議する。

◇概算数量について

- ・ 工事費内訳書等の「摘要」欄に「概数」と記して示した数量は現地の状況等により変更が予測される数量であり、協議のうえ必要に応じて設計変更を行う。

◇提出成果品

- ・ 提出成果品は別紙のとおりとする。

◇提出成果品

番号	名称	記入内容等	縮尺	サイズ	部数(原本)	部数(コピー)
1	位置図	浄化槽設置箇所の位置図。 設置位置を旗挙げすること。(コピーするため、濃く記入すること。)	1/10,000～ 1/50,000	A4	1	4
2	平面図	付近の現況、住居用敷地境界、住宅、排水設備、合併浄化槽、放流管、放流先、井戸、方位、ベンチマーク、付近の道路等。 土地の地番・所有者を記入すること。		A3	1	4
3	縦断図	排水設備～合併浄化槽～放流管～放流先	適宜	A3	1	2
4	浄化槽設置構造図	流入・放流桝、基礎工、ピット工等。	適宜	A3	1	2
5	材料計算書			A4	1	2
6	登記簿謄本	設置個所の土地の登記簿謄本。 開いて綴じること。		B4	1	2
7	地積測量図	設置個所の土地の地積測量図。	適宜	A4	1	2
8	住宅の平面図	設置する住宅の平面図。(縮小可。) 参考資料が無い場合は、調査して作成すること。この際、延べ床面積を算出すること。	適宜	A3 又はA4	1	4
9	占用申請書1式	他の公共施設へ流入する場合の占用図書1式。	適宜	A3 又はA4	1	4
10	電子データ	上記資料について、電子データで提出すること。 CADデータについても提出すること。			1	1

調査業務の要領

1. 資料収集

設置個所の土地の登記簿謄本 1 通	①法務局で閲覧・コピー（契約後、2 週間以内に提出すること。）
設置個所の土地の地積測量図のコピー 1 通	①法務局又は網走市建設部土木管理課地積調査係で閲覧・コピー。 （契約後、2 週間以内に提出すること。）
設置する住宅の平面図	①設計図書に添付のない場合、申請者より借用し、コピーすること。 ②申請者が所有していない場合、調査して作成すること。この場合、延べ床面積を算出すること。

2. 設置条件等の確認事項

住宅の排水設備の位置の確認	①住宅まわりの排水設備の配管の平面・縦断条件を確認すること。
浄化槽設置位置の確認	①設置箇所の条件を踏まえて決定し、申請者の確認をとること。詳細に検討してみないと、希望場所に設置できない場合があるので、複数の設置希望場所を聞いておくこと。 ②掘削範囲・ピットの範囲等を見出し杭を設置して、申請者に説明すること。又、工事施行に必要なので、見出し杭は保存しておくこと。 ③新築の場合、造成高さを変更する場合があるので、確認すること。
放流先及び放流方法の確認	①極力、自然放流として、放流先を検討すること。 ②既設管渠等に接続する場合、位置・管底高さを確認すること。 ③放流管の施工を申請者本人が行う場合があるので、確認すること。 ④浸透式又はポンプ槽方式となる場合は、設置条件、構造、概算費用等を申請者に説明すること。

3. 設置個所を決定するときの条件

荷重の影響が無いこと。	①構造物端又は車輪より地中45度の線に影響範囲とする。特に、住宅の基礎からの離れを確認すること。（別図）
工作物の移転を伴わないこと。	①工作物（立木等含む。）の移転が伴う場合、個人負担となることを申請者に説明すること。
落雪箇所に位置しないこと。	①浄化槽の破損を防止するため、又は冬期間も点検等を行うため、積雪が集中する箇所に計画しないこと。申請者に説明すること。